

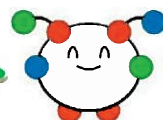
なんと もっと知りたい南砺の仕事

 お伝えします ことしのお金の使い方 

概要版



平成27年度
予算のあらまし概要版
富山県南砺市



ほっとあつとなんと

はじめに ～地方創生に取り組む～



昨年9月、人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、政府内に「まち・ひと・しごと創生本部」が設置されました。南砺市においては、早くから地域内分権制度の推進や、山間過疎地域振興条例の制定による地域支援、婚活支援、定住支援、三世帯同居世帯への支援など、様々な課題解決施策に先んじて取り組んでまいりました。政府が本腰を入れて地方創生に取り組まれたこの機会に、さらにス

ピード感をもって、人口減少問題に対処してまいります。

人口問題はひとつの施策だけで解決できるものではなく、市民の皆様や地域、企業、行政によるすべての思いや活動、施策などが折り重なっていくこと、すなわち協働による総合的なまちづくりの視点で進めることが不可欠です。「南砺に住んでみたい」「これからも住み続けたい」と多くの方に感じていただけるよう、先に挙げた取り組みの深化はもとより、地方が持つ良さを活かした新しいライフスタイルを全国に提案できるまちづくりに向け、人・自然・食・歴史・伝統・文化といった南砺の暮らしに溶け込んでいる豊かな資源を認め、磨き込み、連携させることで、地域の価値を高めてまいります。

現在進めているエコビレッジ構想や地域包括医療ケアの実践は、全国的にも注目されてまいりました。定住促進の面では移住プログラムの拡充や空き家の活用のみならず、クリエイターの支援を通じて若者を呼び込み、「ものづくり」の底上げも同時に図る取り組みを進めます。また、子育て支援の分野では、多様な保育ニーズに対応する統合保育園の整備をはじめ、昨年4月からは第三子以降の保育料を無料化するなど既に各種支援を充実させてまいりましたが、今年はさらに一步踏み込み、結婚・妊娠・出産から子育て・教育まで、親へも子へも切れ目のない包括支援体制の構築に取り組んでいきます。

この予算のあらまし概要版には、今年一年の南砺市予算の概要と、主な事業について掲載してあります。南砺市の行政を少しでも身近なものとして感じていただき、共に知恵を出し合いながら元気な南砺市を創り上げていきたいと考えております。作成にあたりましては判り易い言葉使いに心掛けておりますが、不十分な点やお気づきの点がありましたら遠慮なくご意見をお寄せ下さい。

今後とも協働のまちづくりを進め、市民の暮らしの満足度を高め安定した行財政の経営に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い致します。尚、個々の事業につきましては本誌「予算のあらまし」がありますので、南砺市ホームページで閲覧いただくか、各行政センター情報公開コーナー等でご覧いただければ幸いです。

平成 27 年 4 月

富山県南砺市長 田 中 幹 夫

平成27年度当初予算について

■ 予算の規模

	平成27年度	平成26年度	対前年度増減額	伸率
一般会計(1)	3,478,000 万円	3,342,000 万円	136,000 万円	4.1
特別会計(8)	934,180 万円	886,290 万円	47,890 万円	5.4
企業会計(3)	1,473,742 万円	1,552,250 万円	△ 78,508 万円	△ 5.1
合計(12)	5,885,922 万円	5,780,540 万円	105,382 万円	1.8

一般会計の予算規模は、人件費の抑制や公債費の繰上償還などにより、経常経費の削減に努めながら、予算編成方針において、普通交付税の合併算定替えが平成26年度で終了し、平成27年度から普通交付税が段階的に減少することから、前年度当初予算の一般会計ベースで3%を削減した一般財源となるよう要求することとしました。一方、現行の総合計画が2年後の平成28年度で終了することから、総合計画の総仕上げに向け、未解決の課題解決や目標を達成できるよう総合計画の仕上げ枠として要求すること、加えて「地方創生」に関する施策で新たに取り組む事業、従来の事業を拡充する事業を地方創生枠として要求することとしました。この仕上げ枠・創生枠の当初予算総額約3億円を含み、前年度当初予算に比べ13億6,000万円、4.1%増の積極型予算となりました。後述いたします国の採択を受けた地域再生計画による地域再生戦略及び国が推進する地域住民生活等緊急支援のための交付金事業に呼応して措置した平成26年度2月・3月補正3億9,300万円を含んだ14カ月予算では、一般会計予算総額は351億7,300万円となります。

歳出の建設事業では、(仮称)福光東部統合保育園整備、(仮称)クリエイタープラザ建設、井波小学校大規模改修、平成27・28年度の継続事業として取り組む井波地域大型貯水槽建設及び(仮称)地域包括医療・ケアセンター建設など後期総合計画を着実に推進する予算編成としました。また、当初予算編成にあたって、特定財源については交付税措置のある有利な市債を最優先に活用するなどして予算を編成しました。なおも不足する財源は、財政調整基金の一部を取り崩して財源を確保いたしました。

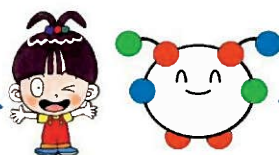
平成26年9月、政府内に「まち・ひと・しごと創生本部」が設置されました。南砺市においては、早くから地域内分権や山間過疎地域振興条例による振興支援、婚活支援、定住支援、三世帯同居世帯への支援など様々な課題解決施策に取り組んできま

した。折しも、国において、「まち・ひと・しごと創生関連事業」が施行され、平成27年1月22日に「TOGA 国際芸術村を核としたクリエイティブビレッジ構想」が地域再生計画の認定を受け、南砺市において地方版総合戦略の核となるプロジェクトと位置づけ地域再生戦略事業として、長期滞在拠点の整備及び癒しの里・南砺ブランド商品開発を行い、かつ地域住民生活等緊急支援のための交付金事業により、南砺市においても北陸新幹線開通に合わせたふるさとまごころ旅行券発行や新幹線と城端線で南砺に来られ事業などの観光客受入事業、子ども子育てのための応援商品券発行、出生祝い金の支給、定住推進のための人材還流雇用促進、三世代同居奨励金、リフォーム助成等を地方消費喚起・生活支援型、地方創生先行型交付金事業として27年度当初予算を平成26年度2月・3月補正に前倒ししています。南砺市では、政府が本腰を入れて地方創生に取り組まれたこの機会に、さらにスピード感をもって、人口減少問題等に対処していきます。

現在進めているエコビレッジ構想や地域包括医療ケアの実践は、全国的にも注目されてきました。また、定住促進の面では移住プログラムの拡充や空き家の活用のみならず、クリエイターの支援を通じて若者を呼び込み、「ものづくり」の底上げも同時に図る取り組みを進めます。さらには、子育て支援の分野では、多様な保育ニーズに対応する統合保育園の整備をはじめ、昨年4月からは第三子以降の保育料を無料化するなど既に各種支援を充実させ、今年はさらに一步踏み込み、結婚・妊娠・出産から子育て・教育まで、親へも子へも切れ目のない包括支援体制の構築を図り、新たにすこやか親子支援事業を展開します。なお、平成26年度3月補正において、すこやか子育て基金を創設し10億円を積み立てることとしています。

今後も一般会計では総合計画や今後策定する地方版総合戦略(平成27年度から31年度までの5カ年計画)に基づく大型事業が控えており、また、企業会計では企業債元利償還が財政運営を圧迫すると予想されていることから、将来の健全な財政運営方針は喫緊の課題となっています。また、平成27年度から普通交付税の減額も始まることから、平成26年度から策定している公共施設等総合管理計画や第2次定員適正化計画をはじめとした行財政改革を積極的に推し進め、身の丈に合った財政規模の実現を目指さなくてはならないと考えております。そうした中においても絶えず市民目線に立ち、市民満足度向上に努めるとともに、施策及び事務事業マネジメントシートを作成することで得られる評価を、今後の予算編成の際の判断材料としながら、成果とコストから捉えた経営方針の設定の中に施策を位置付け、課題と方向性を整理しながら予算の重点配分を行っていきます。

みなさんこんにちは！
なんとみらいちゃんです。
今年度の南砺市の予算や財政
状況について、NANTOくん
といっしょにお伝えします。
よろしくね！

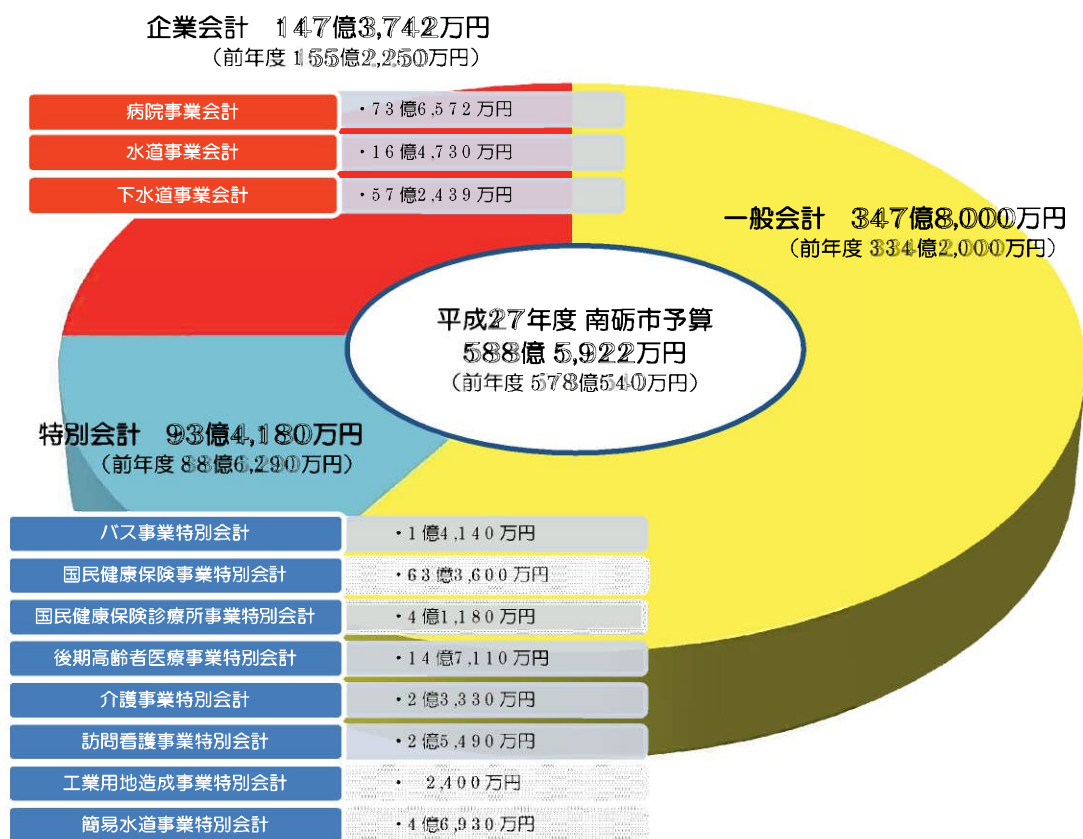


NANTOくんです。
南砺市の財政について紹介す
るよ。
じゃあ、さっそく平成27年
度の予算額からみてみよう！



Q南砺市の今年の予算額は？

一般会計・特別会計・企業会計合わせて588億5,922万円となっています。



南砺市の中にも、
いろいろな会計が
あるんだよね！

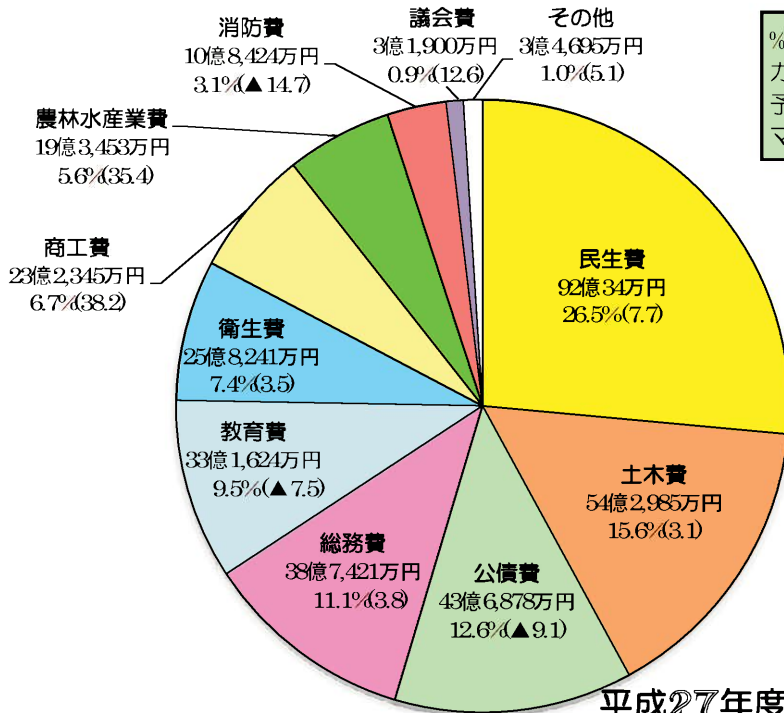
そうだね。事業運営の性質によっ
て、会計を分けているんだよ。
詳しくは下を見てね！



- 「一般会計」とは、市の基本的な仕事のための会計です。市民の皆さんに納めていただく市税や、国・県からの補助金などが財源となります。
- 「特別会計」とは、特定の収入（使用料や保険料など）がある事業について、収支を明確にするため一般会計から独立させた会計です。
- 「企業会計」とは、病院・水道・下水道など民間企業のように事業の収益で運営される会計です。



Q平成27年度一般会計予算347億8,000万円はどう使うの？



%の数字は構成比。
カッコ内の数字は26年度当初
予算額に対する伸び率(%)
マイナスは▲



平成27年度一般会計予算 歳出

平成27年度当初予算は、前年度当初に比べ13億6,000万円（4.1%）増えているよ。
予算が増えた理由としては、定住推進や、金沢井波線バス運行調査などまちづくりの指針となる総合計画の「仕上げ」に向けた事業に取り組むこと、保育園保育料軽減やすこやか親子支援事業など、「地方創生」に関する施策に取り組むことが挙げられるよ。
それから、（仮称）福光東部統合保育園整備や井波小学校大規模改修事業、また、（仮称）クリエイタープラザ建設や井波地域大型貯水槽建設、（仮称）地域包括医療・ケアセンター建設などの大型建設事業に着手することも予算が増えた要因だね。



フムフム…でもやっぱり金額が大きすぎてよくわからな〜い。

イメージしやすいように市民1人当たりの金額にしてみたよ！

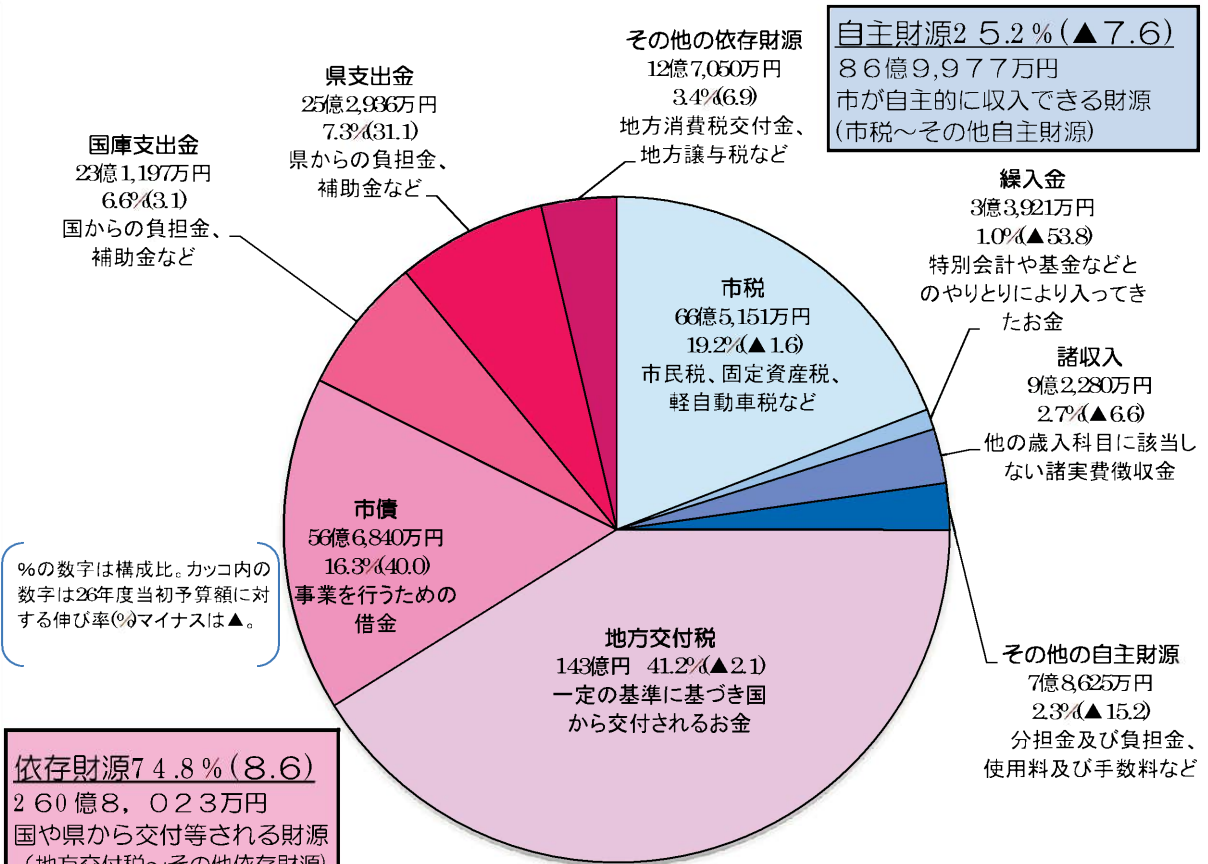


※資料編の平成27年度人口は、平成27年1月末住民基本台帳人口の53,722人としています。

市民1人当たり予算 64万7千円	民生費 子どもや高齢者、障害者など市民の福祉に使います。	土木費 道路や公園、河川の整備や維持管理に使います。	公債費 市の借金の返済に使います。
次は内訳だよ！	17万1千円	10万1千円	8万1千円
総務費 市役所の全般的な運営に使います。	教育費 小中学校や文化・スポーツ・生涯学習など教育に使います。	衛生費 市民の健康のために使います。	商工費 商工業の発展のために使います。
7万2千円	6万2千円	4万8千円	4万3千円
農林水産業費 農林水産業振興に使います。	消防費 消防署や消防団に使います。	議会費 市議会の運営に使います。	その他 災害復旧費・労働費・諸支出金・予備費
3万6千円	2万1千円	6千円	6千円



Q一般会計にはどんな収入があるの？



平成27年度一般会計予算 歳入

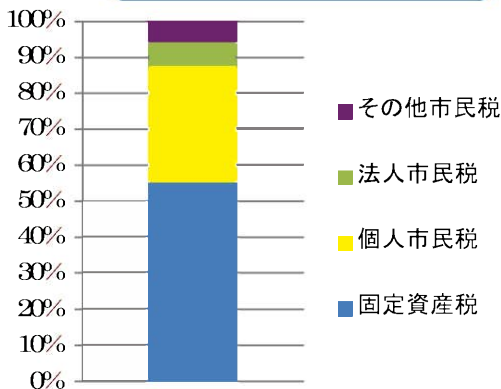


おもな収入として、市民の方に収めて頂く市税、一定の基準によって国から交付される地方交付税、国や県から特定の事業に交付される国庫支出金・県支出金、事業を行うために銀行などから借りる市債などがあるよ。

南砺市は、市税など市が自分で調達できる自主財源が約2.5%しかないんだ。それに対して、国や県から交付される依存財源が約75%となっていて、収入の大部分を依存財源に頼っている状態なんだよ。



たしか…税金にもいろいろな種類があるんだよね。



そうそう。何に対して税金をかけるかによって、種類が分かっているんだよ。市税の内訳は下を見てね。



Q市税の内訳は？

- 土地や家を持っている個人や法人に課税される固定資産税 36億6,899万円
- 市民の皆さんに負担していただく個人市民税 21億6,098万円
- 市内の会社(法人)の収入などに応じて課税される法人市民税 4億2,997万円
- その他に軽自動車税や市たばこ税、入湯税があります。 3億9,157万円

今年が目玉事業

平成27年度は、2・3月に計上した補正予算に当初予算を含めた「14カ月予算」となっていることから、当初予算事業だけでなく、補正予算に前倒しした事業も掲載しているよ。



1. 自然に優しい住みよいまちづくり（基本方針1）

エコビレッジ拠点施設基本計画策定業務	225万円
エコビレッジ桜ヶ池モデル地区において拠点となる施設整備に向けて金沢大学との連携事業として調査、研究を行い、基本計画を策定します。	
エコ住宅ゾーン推進協議会委託	100万円
エコビレッジ桜ヶ池モデル地区において、エコ住宅ゾーン造成のための基本計画策定します。	
エコ住宅ゾーン基礎調査委託	150万円
小又地区における温泉熱を活用したエコ住宅ゾーン造成のための基礎調査を行います。	
高専水力発電コンテスト	163万円
東海北陸7県の9高専による第6回小水力発電アイデアコンテストを平成28年3月に南砺市を会場に開催します。	
クアガーデンに木質バイオマス熱利用施設整備	1億3,348万円
環境省グリーンニューデール基金事業として、桜ヶ池クアガーデンに木質ペレットボイラーを新設します。	
バイオマス熱利用・太陽光発電設備実施設計業務	731万円
環境省グリーンニューデール基金事業として、南砺中央病院に木質ペレットボイラー、太陽光発電設備を新設するため設計を行います。	
住宅用太陽光発電設備、薪ストーブ・ペレット購入補助	650万円
エコビレッジの実現に向けた取組みとして、住宅用太陽光発電設備や薪ストーブ、ペレットストーブなどを購入した方に対して、費用の一部を助成します。	

2. 安全で快適なまちづくり（基本方針2）

金沢井波線バス実証実験	3,437万円
北陸新幹線金沢開業に伴い、南砺市民の関西・中京方面への交通手段を確保することを目的として、民間路線バスの実証実験運行を実施します。	
JR城端線増便試行負担金	2,729万円
JR城端線の沿線住民の利用促進、そして新幹線との接続の向上を目的として、増便運行費用について負担金を支出します。	
防災行政無線基地局・移動系無線設備整備	3億5,970万円
防災行政無線のデジタル化整備として、平成27年度は基地局及び移動系無線設備の整備を行います。	
防災情報ステーション整備	2億3,500万円
大規模災害時における通信回線の強靱化と、主要避難所等におけるWifi通信サービスによる情報基盤を整備いたします。	
震災対策農業水利事業（ため池の堤体土質調査解析、ハザードマップ作成）	1億1,901万円
ため池は築造時期が古く、耐震状況が不明な施設が多く耐震調査を実施し、安全を確保するためのハザードマップの作成や、耐震補強等の施設整備を進めます。	
道路整備5箇年計画の推進（道路・街路）	13億1,250万円
平成24年度末に策定した南砺市安全安心の道路整備5箇年計画に基づき、全体計画69路線に対し、32路線を継続、7路線を新規着手します。また、施設整備関連等4路線の整備を進めます。	
大型除雪機械整備	7,963万円
南砺市所有の除雪車のうち、老朽化した車両を国の補助金により更新を進めます。	
地域ぐるみ除排雪の促進（除雪機械購入）	3,081万円
除雪機械を利用して、地域ぐるみで除排雪活動を行おうとする団体（自治会・協議会等）に対して、小型除雪機械の貸出を行います。	
井波地域大型貯水槽建設（H27・28 2カ年継続事業）	3億2,541万円
井波地域の消融雪・防災効果発現のため、貯水槽の建設事業を行うものです。	
公共施設の耐震化（小・中学校天井等落下防止対策）	6,059万円
児童生徒が安全で安心感のある学校生活を送ることができるよう、平成27年度までに体育館の天井等の落下防止対策を講じます。	

3. 健やかなやすらぎのまちづくり（基本方針3）

地域包括医療・ケアセンター建設（H27・28 2カ年継続事業）	3億4,728万円
保健・医療・介護予防サービス等が有機的かつ総合的に提供できる体制を整えるため、（仮称）地域包括医療ケアセンターを建設するものです。	
多子世帯保育料1/2軽減（影響額）	3,474万円
小学校3年になるまで保育園同時入所とみなし（幼稚園基準と同じ）、2人目の保育料を1/2に軽減することにより、多子世帯の経済的負担を軽減します。	
生活困窮者自立支援事業	669万円
福祉課内に設置した生活相談支援窓口で、生活や仕事など、生活全般にわたる困りごとの相談をお受けし、一人一人の状況に応じた支援を行います。	

胃がんリスク判定検査	381万円
がんの中でも死亡率の高い胃がんの発症しやすい危険性を血液検査で判定し、危険性の高い方に受診を勧めます。さらに、定期的な胃がん検診受診が、早期発見・早期治療につながることを啓発します。	
城端児童館改築実施設計	1,115万円
老朽化している城端児童館の改築を進めます。今年度は平成29年4月の開館に向けて実施設計を行います。	
出生祝い金（拡充）（平成26年度3月補正）	2,059万円
出生祝い金を増額し、商品券を贈呈します。三世代同居を推進するため、三世代同居世帯には出生祝い金を上乗せして贈呈します。	
三世代同居世帯保育料30%軽減（影響額）	2,567万円
家庭の養育力を向上させ、家族の絆で子育てをする環境づくりのため、三世代同居している児童の保育料を30%軽減し、子育て支援の充実を図ります。	
随時対応型訪問看護、高齢者グループホーム	4,668万円
日中・夜間を通じて高齢者の在宅での生活を支援するための定期巡回・随時対応型訪問介護看護や高齢者グループホームを整備する法人等に補助金を交付します。	
身障者グループホーム	500万円
障がい者の自立を支援するため、社会福祉法人等が夜間や休日に共同生活を行うための「障害者グループホーム」を建設整備する経費に対して補助金を交付します。	
すこやか親子支援事業（南砺市版ネウボラ）	2,380万円
妊娠から子育て期にかけて、様々な不安や悩み事の相談・支援の窓口を一本化して、母親の顔がみえる関係を構築し継続的な切れ目のない支援を行い、安心して産み育てることができる地域づくりを行います。	
（仮称）福光東部統合保育園整備	9億559万円
今年度は、用地造成及び建物本体工事、工事監理業務委託、備品・食器類の購入などの施設整備を実施し、平成28年4月の開園を目指します。	
すこやか子育て応援券の交付（平成26年度3月補正）	3,150万円
中学3年生までの児童を対象に、すこやか子育て応援券を交付し、子育て世帯への生活支援と市内での消費喚起を行います。	

4.心豊かで創造的なまちづくり（基本方針4）

井波小大規模改修	4億8,312万円
小学校の耐震化率は、平成25年度末に100%となりました。平成27年度からは、老朽化した井波小学校舎の大規模改修を行います。	
井波中大規模改修実施設計	2,550万円
中学校の耐震化率は、平成26年度末に100%となりました。平成27年度は、老朽化した井波中学校舎の大規模改修の実施設計を行います。	
井波中グラウンド整備	7,246万円
平成26年度に小中学校のグラウンド整備工事の実施設計を行いました。平成27年度は、井波中学校グラウンドの改修を行います。	
なんとっ子まなびサポーター配置事業	1,320万円
児童生徒のつまずきを解消するため、国語科や算数科、数学科の学習内容の定着を図るようサポートします。	
地区公民館の耐震化（3館実施設計）	955万円
平成28年度に耐震補強工事実施予定の公民館（大鋸屋、山野、石黒）の設計委託を実施します。	
世界的舞台芸術拠点づくり推進補助金	900万円
＜創造と教育＞というテーマのもと、アジアにおける舞台芸術の拠点として、世界に類をみない利賀芸術公園という芸術環境を生かした先進的事業です。	
旧井波高校体育館改修	1,407万円
平成27年度中に旧井波高校校舎が解体されます。校舎解体後、高校体育館を市の社会体育館として継続利用するために、必要な改修工事（電気、水道、消防防災設備）を実施します。	
相倉口駐車場使所新設工事	2,484万円
世界遺産マスタープランに基づき、世界遺産を訪れる観光客に快適な旅行環境を提供するため、相倉口駐車場に公衆使所を新設します。	
南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2015開催補助金	4,500万円
「木彫りを通して世界をつなぐ」をテーマに、12カ国の海外作家や国内作家及び地元作家が、原木を作品として完成させるまでを屋外で公開制作します。	
山村留学事業	36万円
山村留学について理解を深めるために、平成27年度は、先進地の視察研修等を行います。	

5.いきいきとした活力あるまちづくり（基本方針5）

農地集積・集約化対策事業（機構集積協力金交付事業）	2億7,900万円
担い手への農地の集積・集約化を図るため、農地中間管理機構を介して、全農地を預けた農家に対して支援を行います。	
JA福光全自動自主検査設備導入補助	6,197万円
安全・安心で均質なおいしい米の特産化を図るため、米の食味である「タンパク質、アミロース」の成分も計測できる自主検査装置をJA福光に導入いたします。	

南砺市山村振興計画の策定事業	300万円
山村振興法に基づき、山村が産業基盤及び生活環境の整備等について他の地域と比較して低位にある実情にかんがみ、山村における経済力の培養と住民の福祉の向上を図り、併せて地域格差の是正と経済の発展に寄与するため、南砺市山村振興計画を策定します。	
歴史と文化が薫るまちづくり事業（井波、福光）	5,773万円
地域に存在する歴史的・文化的資源などを活用した観光客誘致等のために行う整備事業について支援します。（井波地域歴史と文化が薫るまちづくり事業、福光地域歴史と文化が薫るまちづくり事業）	
クリエイタープラザ建設	8億4,836万円
桜ヶ池サービスエリア内に情報コンテンツ産業を柱に、ものづくりのクリエイターを集積する施設を整備し、クリエイティブ産業の振興や南砺市の魅力等についての情報を発信します。	
なんと幸せのおすそわけキャンペーン補助金	600万円
キャンペーンの一環として昨年11月に「南砺里山倶楽部」が発足しました。交流観光を深化させていくことによって南砺ファンの輪を広げ、人・モノ・情報を循環させ、さらにキャンペーンの展開に弾みをつけていきます。	
定住化の促進（定住促進、空き家対策など）	7,675万円
転入又は結婚を機に南砺市で居住される方に助成制度を設けています。また、空き家の解消とともに定住人口の増加を図るため空き家バンク登録制度を実施しています。	
なんとに住んでみられ事業	1,824万円
南砺市への移住希望者に市内での生活体験のできる空き家を体験ハウスとして利用してもらい、市への移住・定住を促進し地域の活性化を図ります。	
天竺温泉の郷改修工事（平成26年度2・3月補正）	9,310万円
「TOGA国際芸術村を核としたクリエイティブビレッジ構想」における長期滞在型観光を推進するために宿泊の機能を強化します。	
三世代同居奨励金及び推進リフォーム助成金（平成26年度3月補正）	2,600万円
三世代世帯の同居により人口増を図り、老々介護の解消や在宅取りの増進、持ち家率全国1位の意識を高揚させ、空き家の減少も目的としています。	
プレミアム商品券事業補助金（平成26年度3月補正）	4,000万円
市民の消費意欲向上と市内商店街等の地域経済の活性化を目的とし、プレミアム付き商品券の発行を支援します。	

6. 市民と行政の協働のまちづくり（基本方針6）

地域づくり交付金	8,593万円
地域における課題や問題の解決と、安心・安全な地域づくりに向けて、地域の皆さんが自ら考え自ら行動する活動を支援し、協働によるまちづくりを推進するために交付します。	
協働のまちづくりチャレンジ事業	430万円
協働のまちづくりをさらに進めるため、意欲の高い団体等が、地域課題の解決に向け、ビジネスの手法を用いて行う持続可能な事業展開を目指す取り組みについて、支援を行います。	
地域おこし協力隊（3→5名）	2,165万円
「空き家、移住・定住対策」担当1名、「農林業の6次産業化」担当1名を新たに増員し、既存の3名とともに南砺市の課題解決と地域活性化に取り組みます。	
やっとなこと発表会	51万円
自治会、町内会や自治振興会、市民団体などにおいて積極的に取り組まれているまちづくりを発表する場を設け、新たなまちづくり活動の気運を高めるものです。	
まちづくり基本条例ポケット版作成	70万円
まちづくり基本条例の周知、普及に向けて、条例をわかりやすく解説し、携帯できるサイズの解説書を作成します。	
金沢大学セミナーハウス	1,576万円
金沢大学との官学連携事業契約に基づき、相倉の市有合掌造り建物を改修した後にセミナーハウスとして活用します。	
官民連携事業可能性調査	200万円
まちづくりを進めるうえで、官民連携事業が有効かどうか、また、事業を展開するに当たり、何が長所で何が弱点なのか、どの分野に可能性があるのかなどを調査します。	

7. 健全で開かれたまちづくり（基本方針7）

次期総合計画策定	328万円
平成19年度にスタートした現在の総合計画は、計画期間が平成28年度に終了することから、今後のまちづくりに向けて次期総合計画を策定します。	
公共施設再編計画及び第3セクター改革プラン作成委託	2,802万円
第2次南砺市行政改革大綱に基づき、公共施設の再編及び第3セクターの経営健全化を図るための計画を作成します。	
公共施設再編計画に基づく施設の解体等	6,318万円
公共施設再編計画に基づき旧福光保育園等の解体を行います。	
定員適正化計画に基づく人件費の減（一般会計分）	△1億5,516万円
定員適正化計画に基づき、平成18年度から10年間で201人の削減に取り組んでいます。平成27年度は、前年度比23名、1億5,516万円の削減となります。	

平成27年度 地方創生・仕上げ事業一覧



平成27年度は、国の支援を受けて実施する「地方創生」に関する事業を積極的に推進していくよ。
また、総合計画の「総仕上げ」に向けた事業も実施するんだ。

「地方創生」や「仕上げ」に関わる事業がたくさんあるんだね！！



当初補正	区分	事業名	款項目			細目名	予算額	
2月・3月補正	再生戦略	クリエイターズネットワーク構築事業	2	1	7	2.企画費	1,550万円	
	再生戦略	南砺ブランド開発研究事業	2	1	7	2.企画費	2,850万円	
	再生戦略	宿泊設備資材、食材加工運搬用車両購入補助金	2	1	7	2.企画費	1,300万円	
	再生戦略	天竺温泉の郷改修実施設計業務委託	7	1	5	38.温泉施設管理費	610万円	
	再生戦略	天竺温泉の郷改修監理業務委託・工事	7	1	5	38.温泉施設管理費	8,700万円	
	小 計						5件	1億5,010万円
	地方創生(先行)	地方版総合戦略策定業務	2	1	7	2.企画費	1,105万円	
	地方創生(先行)	結婚活動支援費	2	1	8	4.結婚活動支援費	826万円	
	地方創生(先行)	金沢井波線実証実験バスのアニメラッピング等	2	1	12	1.公共交通費	300万円	
	地方創生(先行)	定住促進雇用促進事業	2	1	23	1.定住推進費	1,000万円	
	地方創生(先行)	三世代同居奨励金及び推進リフォーム助成事業補助金	2	1	23	1.定住推進費	2,600万円	
	地方創生(先行)	出産支援交通費助成事業	4	1	6	1.母子保健対策費	390万円	
	地方創生(先行)	利質地域森林資源活用事業	6	3	2	1.林業振興対策費	102万円	
	地方創生(先行)	起業家育成支援事業補助	7	1	2	1.地域産業振興事業費	754万円	
	地方創生(先行)	伝統的工芸品後継者育成支援事業	7	1	2	2.伝統的工芸産業振興費	240万円	
	地方創生(先行)	空き店舗対策支援事業	7	1	2	3.商工振興費	1,600万円	
	地方創生(先行)	南砺市商店後継者支援事業	7	1	2	3.商工振興費	900万円	
	地方創生(先行)	観光客受入環境整備事業	7	1	3	1.観光推進費	700万円	
	地方創生(先行)	観光協会補助金 とやま南砺ウィークin吉祥寺	7	1	3	1.観光推進費	240万円	
	地方創生(先行)	観光協会補助金 大宮東北方面PR事業	7	1	3	1.観光推進費	100万円	
地方創生(先行)	観光協会補助金 川崎市立日本民家園PR事業	7	1	3	1.観光推進費	230万円		
地方創生(先行)	ふるさと教育推進事業	10	1	4	2.教育センター運営費	200万円		
小 計						16件	1億1,287万円	
地方創生(消費喚起・生活支援)	新幹線と城端線で南砺に來られ事業	2	1	12	1.公共交通費	555万円		
地方創生(消費喚起・生活支援)	出生祝い金(H27分)	3	2	1	2.児童育成費	2,059万円		
地方創生(消費喚起・生活支援)	すこやか子育て応援券交付事業	3	2	1	2.児童育成費	3,150万円		
地方創生(消費喚起・生活支援)	私立認定こども園保育料軽減事業	3	2	5	9.施設型給付等支援費	451万円		
地方創生(消費喚起・生活支援)	プレミアム付き商品券発行事業	7	1	2	3.商工振興費	4,000万円		
地方創生(消費喚起・生活支援)	観光協会補助金 新幹線開業ツアー商品造成事業	7	1	3	1.観光推進費	120万円		
地方創生(消費喚起・生活支援)	観光協会補助金 二次交通対策なんたく事業	7	1	3	1.観光推進費	120万円		
地方創生(消費喚起・生活支援)	コンベンション支援事業	7	1	3	1.観光推進費	500万円		
地方創生(消費喚起・生活支援)	公共交通利用誘客促進事業	7	1	3	1.観光推進費	16万円		
地方創生(消費喚起・生活支援)	ふるさとまごころ旅行券助成事業	7	1	3	1.観光推進費	1,100万円		
地方創生(消費喚起・生活支援)	里帰り行こうよ、住もうよツアー事業	7	1	3	1.観光推進費	970万円		
小 計						11件	1億3,041万円	
補正計						32件	3億9,338万円	

平成27年度 地方創生・仕上げ事業一覧

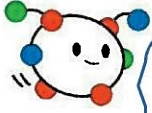
当初 補正	区分	事業名	款項目			細目名	予算額	
当初	地方創生	結婚力向上人材育成事業	2	1	8	5.結婚力向上人材育成費	160万円	
	地方創生	エコビレッジ拠点施設(燧ヶ池かず良)基本計画策 定業務委託	2	1	9	1.エコビレッジ推進費	325万円	
	地方創生	再生可能エネルギー推進事業 南砺市木質燃料協議会運営業務委託	2	1	9	2.再生可能エネルギー推進費	200万円	
	地方創生	セミナーハウス、ふるさと回帰転入補助 なんとに住んで見られ事業	2	1	23	1.定住推進費	7,017万円	
	地方創生	空き家対策事業	2	1	23	2.空き家対策費	1,025万円	
	地方創生	私立認定こども園児給食費軽減事業補助金(第3子 以降及び低所得世帯)	3	2	5	9.施設型給付等支援費	45万円	
	地方創生	保育園保育料の軽減(多子世帯1/2軽減)	3	2	5	9.施設型給付等支援費	3,474万円	
	地方創生	保育園保育料の軽減(三世帯同居30%軽減)	3	2	5	9.施設型給付等支援費	2,567万円	
	地方創生	妊娠出産包括支援事業	4	1	6	1.すこやか親子支援事業費	983万円	
	地方創生	なんと!幸せのおすそわけキャンペーン	7	1	3	1.観光推進費	600万円	
	地方創生	映画「NORINTEN 稲塚権次郎物語」 PR事業	7	1	3	1.観光推進費	101万円	
	小 計						11件	1億6,497万円
	仕上げ	公共施設再編・適正配置事業	2	1	1	3.行政改革推進費	3,196万円	
	仕上げ	協働のまちづくりチャレンジ事業	2	1	8	2.協働によるまちづくり推進費	430万円	
	仕上げ	やっとなこと発表会	2	1	8	2.協働によるまちづくり推進費	51万円	
	仕上げ	青バト車体の白黒仕様塗装	2	1	11	1.防犯対策費	20万円	
	仕上げ	電話録音装置貸与事業	2	1	11	3.消費者保護行政費	71万円	
	仕上げ	主要地方道金沢井波線バス実証実験事業	2	1	12	1.公共交通費	2,344万円	
	仕上げ	南砺に住んでみんまいけ事業	2	1	23	1.定住推進費	3,600万円	
	仕上げ	生活支援モデル地区交付金(300千円×5地区)	3	1	4	1.高齢者福祉推進費(単独)	150万円	
	仕上げ	介護職員初任者研修機関設立に係る補助金(福寿会 補助)	3	1	4	1.高齢者福祉推進費(単独)	234万円	
	仕上げ	手話通訳要約筆記者派遣事業	3	1	6	1.地域生活支援事業費	7万円	
	仕上げ	障害者グループホーム整備補助金	3	1	6	2.障害福祉推進費	500万円	
	仕上げ	心身障害者(児)福祉金給付事業	3	1	6	2.障害福祉推進費	180万円	
	仕上げ	城端児童館改築事業	3	2	3	1.児童センター・児童館管理 運営費	1,115万円	
	仕上げ	福光南部っ子クラブ開設	3	2	3	2.放課後児童クラブ費	419万円	
	仕上げ	きっずらんどクラブ増設(備品他)	3	2	3	2.放課後児童クラブ費	143万円	
	仕上げ	放課後児童クラブ運営委託(5クラブ)に伴う増分	3	2	3	2.放課後児童クラブ費	528万円	
	仕上げ	福野南部さんさん広場	3	2	3	2.放課後児童クラブ費	35万円	
	仕上げ	文化芸術振興プラン策定業務	10	4	6	1.芸術文化推進費	64万円	
	小 計						18件	1億3,087万円
	当初計						29件	2億9,584万円
地方創生・仕上げ事業合計						61件	6億8,922万円	

財政指標からみる南砺市

平成25年度決算



NANTOくん、南砺市の財政は他の市町村と比べると、どうなの？健全かどうか教えて～！



財政力指数とは、標準的な行政費用（支出）に対する標準的な収入の割合を表しているんだ。

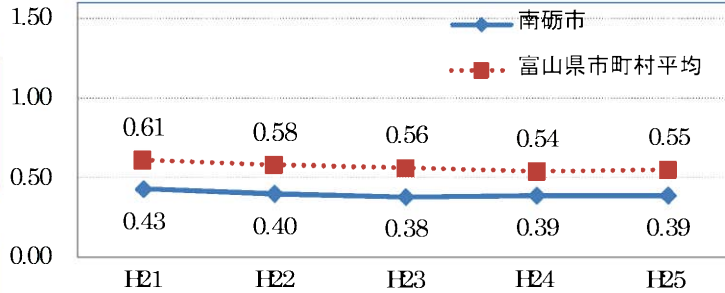


南砺市では、企業誘致や人口増対策へ引き続き取り組みながら、財政基盤強化に努めます。

財政力

値が大きいほうが、より健全

財政力指数 [0.39]



経常収支比率とは、市税や地方交付税などの毎年決まって入ってくるお金に対して、人件費や公債費などの毎年決まって出て行くお金の割合を表しているんだ。

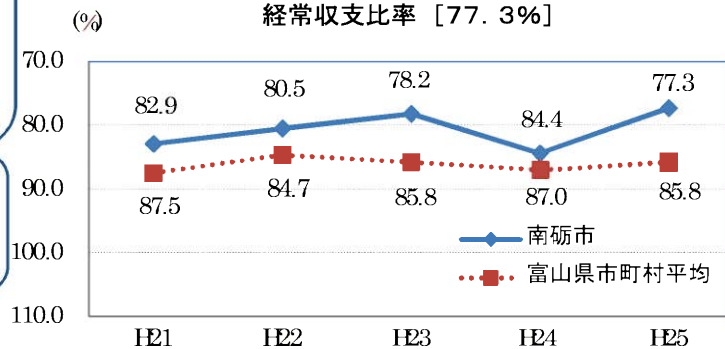


南砺市では、今後も引き続きコスト意識を持ち、職員数適正化や施設管理経費削減に努めます。

財政構造の弾力性

値が小さいほうが、より健全

経常収支比率 [77.3%]



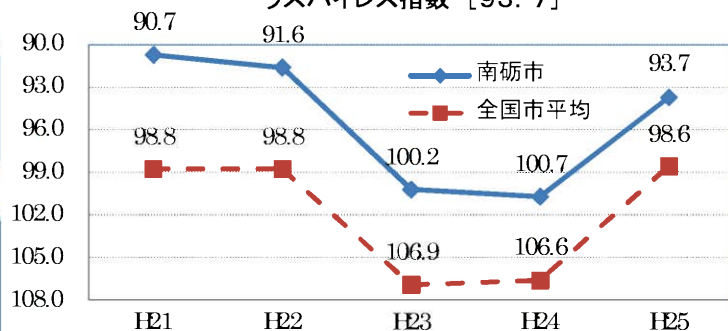
ラスパイレス指数とは、地方公務員の給与水準を表す指数で、国家公務員の俸給を基準(100)として、地方公務員の給与水準を表しているんだ。



H23、H24年度の値は、給与改定特例法による2年間の国家公務員給与削減の影響により高くなっています。

給与水準(国との比較)

ラスパイレス指数 [93.7]

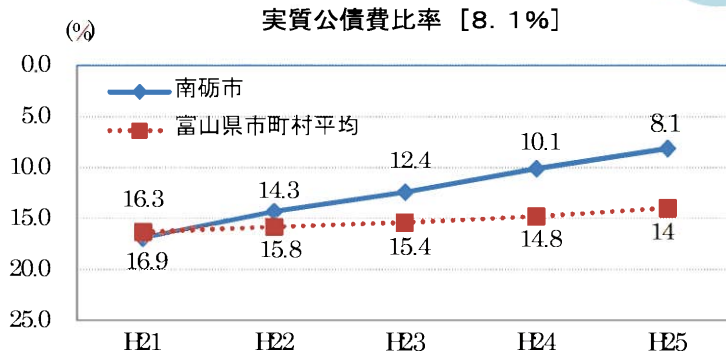


南砺市の財政状況を表す主な指標について、年度別決算を元に富山県平均と比較しました。
 (給与は全国市平均)
 これらは、市の財政の健全度合いを判断するために重要な指標です。

公債費負担の状況

値が小さいほうが、より健全

※総務省より公表されている数値のみ掲載しています。

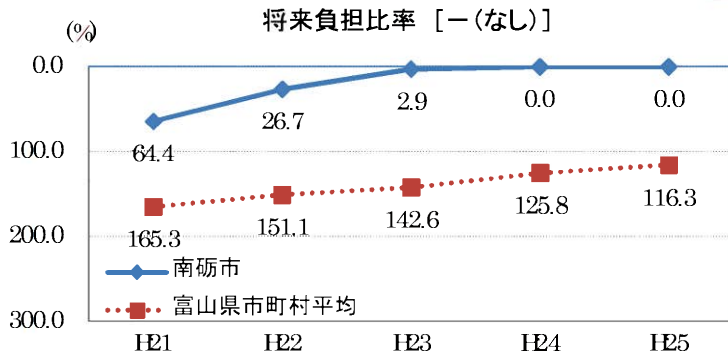


実質公債費比率とは、収入される財源に占める借金返済の割合を表しているんだ。



将来負担の状況

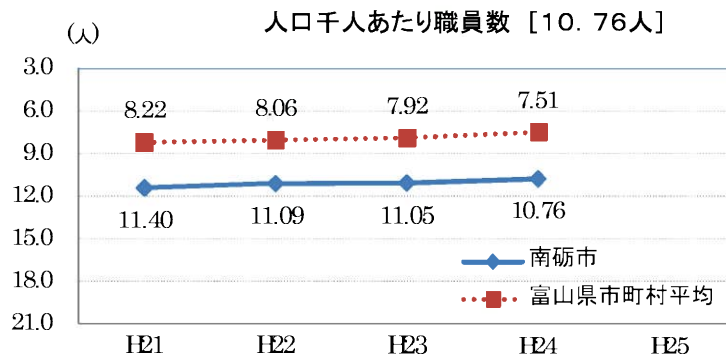
値が小さいほうが、より健全



将来負担比率とは、収入される財源に占める将来負担すべき負債総額の割合を表しているんだ。

南砺市は借金残高が少ない訳ではありませんが、その返済に充てることができる貯金や、返済を国が補う(普通交付税として交付される)額が多いため、将来負担はありませんでした。

定員管理の状況



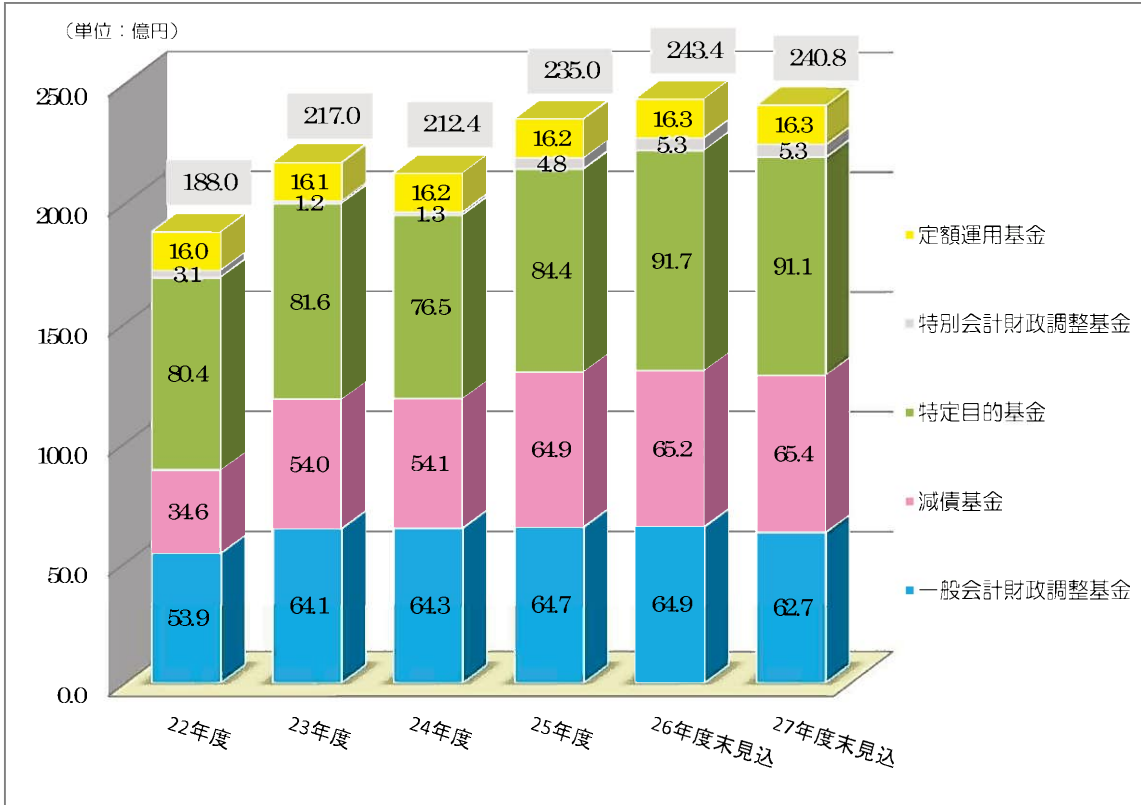
南砺市では、組織体制の見直し等の職員数の適正化を計画的に進めています。

○基金の残高



基金っていうのは貯金のことだよ。もう覚えたよ。エッヘン！
26年度末は増える見込みなんだね。

■南砺市の基金残高の推移



みらいちゃん、すごいね！将来の市債（市の借金）の返済や市民要望などに備えて貯金をしておくんた。26年度には、次代を担う子どもたちへの切れ目ないサービスの提供を目的とした「すこやか子育て基金」を創設したこともあり、基金総額は26年度末に約8億4千万円増える見込みだよ。
27年度は過疎地域振興のための基金や国際交流を推進するための基金など、全体で約3億4千万円使う予定だよ。基金にばかり頼らないで長期的に歳入と歳出のバランスをとることが大切だね。



・ 財政調整基金

不況による大幅な税収の減少や、災害などによる支出の増加に備え、余裕のある時にお金を貯めておく基金です。27年度当初予算では、歳出に対する財源の不足により2億3,730万円を取り崩す予定です。

・ 減債基金

市債（市の借金）の償還を計画的に進めるためのものです。

・ 特定目的基金

市の施設整備や国際交流など特定の目的の為に資金を積み立てるものです。27年度当初予算では、それぞれの基金目的にあった事業の財源として合計で1億191万円を取り崩す予定です。

・ 定額運用基金

奨学金の貸付、公共用地や美術品の取得のために一定の資金を運用するためのものです。

○平成26年度末借入金残高見込

全会計

855億5,966万円

(前年度

850億5,148万円)

市民一人あたりの借入金額

159万円

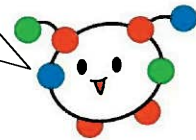
事業の厳選による借入額の抑制、繰上償還の実施などにより適正な借入金残高の維持に努めてきました。これまで実施してきた学校耐震化や統合保育園整備は平成27年度で事業完了となりますが、今後は小中学校の大規模改修等が控えており借入金残高の増加が見込まれます。



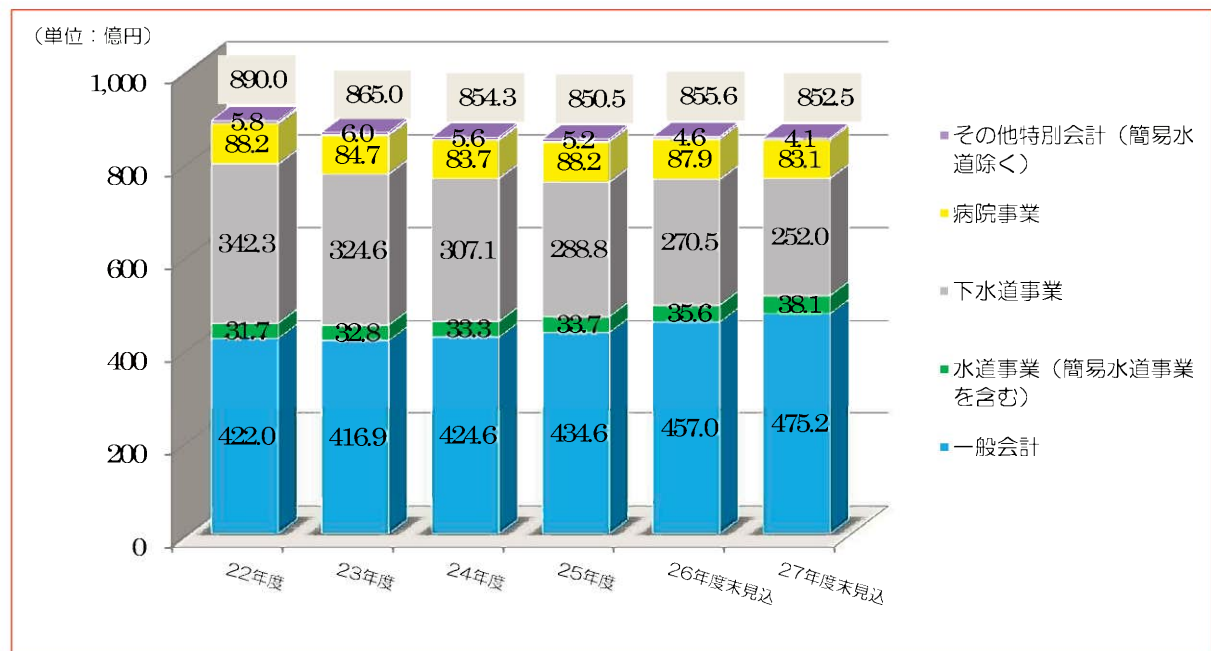
「市債」って借金なんですよ？南砺市は貯金(基金)があるのに、どうしてわざわざ借金をするの？

市は、学校や保育園、文化・スポーツ施設や道路などを整備する時に市債を発行しているよ。

これは、整備された施設がこれから生まれてくる人たちも利用することになるから、その人達にも公平に負担してもらう意味もあるんだ。



■南砺市の借入金残高の推移



○借入金残高(平成26年度末)のうち、市が実際に負担する額

市が借り入れるお金の中には、国が補助金などで市に支払うべきお金も含まれており、その場合は返済するお金の一部が「地方交付税」として国から市に交付されます。

一般会計では、交付税で措置される借入を厳選し、借入後、市民が負担する返済額の軽減に努めています。一方、病院、水道などの公営企業会計や市営バスなどの特別会計は、借り入れたお金を利用料収入(診療報酬や水道・バス料金など)で返済することになっています。

	平成26年度末借入残高	うち、市民が返済する額
一般会計	457億 189万円	115億6,258万円 (25.3%)
病院事業	87億8,940万円	65億7,111万円 (74.8%)
水道事業(簡水含む)	35億6,495万円	28億4,186万円 (79.7%)
下水道事業	270億4,652万円	136億9,155万円 (50.6%)
その他特別会計	4億5,690万円	3億1,192万円 (68.3%)

※ 借入金の返済に対して国から「地方交付税」として交付される額は、およその目安として計算しています。

発行：富山県南砺市

編集：南砺市総務部財政課

〒939-1596

南砺市苗島4880

電話0763-23-2030

FAX0763-23-1602